



北部教育研修センター センターだより 第3号

(北部教育研修センター実証実験事業)

平成 31 年 3 月 20 日(水)

沖縄県名護市字為又 1220-146
北部教育研修センター

発行責任者
センター長 高安美智子

北部教育研修センターの平成 30 年度の事業は 3 月 26 日の研修を残すのみとなりました。「北部教育研修センターの研修会には、できる限り参加していますが、毎回ワクワクするような内容で大いに勉強になります。次年度も楽しみです。」という嬉しいコメントをいただきました。ご協力くださいました皆さまに心より感謝申し上げます。

これまでの研修会で多くのことを学んできました。一つは、対話的で深い学びを促すためには、児童生徒が基礎基本をしっかりと理解しているかどうか、教師には学習の定着度の把握が重要となります。学習の習得においても対話的で深い学びの工夫が必要だということです。二つ目は、教師も子ども達も楽しくワクワクするような授業づくりが大切となります。それは教材の工夫や教師のコミュニケーション力から生まれてくるものだと思います。そこには児童生徒との強い信頼関係を築くための教師の思い(教育への情熱)が大切だと感じました。三つ目は、児童生徒の気付きや問いが生まれる授業は、教師のほどよい問いかけがきっかけとなります。そのためには、深い教材研究が重要であり、教師間の学び合いが大切になってきます。活動あって学びなしという授業にならないような授業づくりを心がけていくことが大切だと感じました。

さて、このセンターだよりは、参加した皆さまに改めて研修を振り返り、実践に活かしていただきたいということと、各事業における参加者の声を紹介することにより、主催者側の振り返りに活かしていくという願いを込めて報告をさせていただいています。さらに今年度、日程等の都合で参加できなかった皆さまには、このセンターだよりを読んでいただき、研修の内容を少しでも伝えることができると考えています。

教師の学ぶ意欲や姿勢で目の前の児童生徒の学びが深まり、北部広域圏の児童生徒の学力向上に繋がるものと信じています。

◆ 平成 31 年度新規採用予定者研修及び 臨時的任用教員で学級担任予定者

講 師：高安美智子(北部教育研修センター長)
大城 寛・新城 敦(センター教員)
対 象：都合により 3 月 11 日の新採予定者研修
を受けられなかった者
(臨任教員で学級担任予定者を含む)
内 容：新学期の準備(学級開き等)
期 日：平成 31 年 3 月 26 日(火)
時 間：14 時 00 分～16 時 45 分
場 所：北部生涯学習推進センター
申 込：TE L 0980-51-1251
FAX 0980-51-1559
E-mail n.sueyoshi@meio-u.ac.jp 末吉

現在、次年度に向けて、新たな研修を模索しながら事業計画を立てているところです。忌憚のないご提案等がありましたらお寄せください。さらに、当センターではこれまでの講演会や模範授業のビデオを保存しています。可能な範囲で貸し出しもいたします。

電話・メール・FAX 等でご連絡ください。

北部教育研修センター主催

「平成 31 年度教員養成講座受講生募集」

北部教育研修センターは、北部広域 12 市町村の児童生徒の学力向上を目的として、教職員研修と教員養成のための研修及び講座を実施しています。平成 31 年度の教員養成講座の開講式は 4 月 15 日(月)を予定しています。メールまたはスマートフォンからも申込が可能です。詳しくは、センターのホームページにてご確認ください。

申込期間：4 月 1 日(月)～4 月 11 日(木)

※離島勤務者は資料のみメール送信も可能です。

北部教育研修センター事業報告

◆◆◆スーパーティーチャー模範授業◆◆◆

日時	平成31年2月25日(月) 14時~16時30分
場所	本部町立本部小学校
参加者	50名

授業者 鈴木詞雄 創価大学大学院准教授

1. 目的

スーパーティーチャーを招聘し、模範授業の参観及びその後の授業研究会において授業づくりの視点を教授してもらうことにより、「主体的・対話的で深い学び」による実践力・指導力を身につけ、北部地区の児童生徒の学力向上へつなげることが目的です。

2. 授業

(1) 学校・学級：本部町立本部小学校 5年3組

(2) 単元 「割合」 実施校の要望により内容を決定

(3) 本時の目標

- ・百分率の意味及び小数倍との関係を理解して、割引の問題を解くことができる。
- ・関係図や線分図を使って考えを説明することができる。

3. 授業の内容

(1) 美ら海水族館では、大人の入館料金は1800円です。コンビニエンスストアで買うと、10%引きで購入できます。コンビニエンスストアで買った場合、入館料金はいくらになりますか。

(2) 紀夫さんは、下のかりゆしウェア①、②を1まいずつ買おうと思っています。

① 1まい 4300円 ② 1まい 5000円

A店では、定価の10%引きで売っています。

B店では、2まい以上買うと、合計金額から20%引いてもらえます。どちらの店で買い物をした方が安く買えるか、考えましょう。①、②のかりゆしウェアを1まいずつ買った場合、代金はどちらが安いですか。

・式と答えを書きましょう。・図や言葉で説明しましょう。

4. 授業参観者の感想から(抜粋)

- ① 子ども同士がたくさんつながる・助け合う授業づくりを私もよりいっそう取組んでいきたい。
- ② 小さなつばやきをどんどん拾い、繋げて広げていく様子はとても勉強になりました。
- ③ 「めあて」を、教師が本時にかける思いを含めて「割引を使った問題を解き、全員が説明できるようにしよう」としたのはよかった。特に「全員が」という点で1人もとりこぼさない意識が伝わり子どもにとってもよかったと思う。
- ④ 子どもたちへの対応がとても勉強になりました。子供たちをおきざりにしないことや先生から否定しない、答えが出てから勝負！というように心に響く言葉がたくさんありました。明日から実践したいです。

5. 授業研究会での意見・感想

- ① はじめにシンク・ペア・シェア(Think Pair Share)でグループ討議を行った。その方法は、「自分で考える・他の意見を再現する・皆で共有する」研究会の持ち方として参考になった。
- ② 次にラウンド・ロビンという手法で研究会を行った。この方法は、順番に全員が話すである。ただし、前の人とは同じことを言わない、ガルーのようである。研究会に参加した先生方も熱心に討議を行っていた。
- ③ 鈴木先生が子どもをよく見て授業を進めているのはとても感心した。また、めあてをみんなで読むのもよかった。

5. 企画者の感想

子どもたちの考えに対して、机間指導で声掛けや〇つけをしながら授業を行っていたのがよかった。そして、児童の考え方をすべて取り上げるのではなく、2つ、3つほど取り上げ、比較検討しているのも参考になった。難しいと思われている割合の単元をすらすらと子どもたちも理解しながら進めている姿に感動した。



北部教育研修センター事業報告

◆◆◆スーパーティーチャーを招聘し模範授業◆◆◆

日 時	平成 31 年 3 月 8 日 (金)	14 時 45 分～16 時 45 分
場 所	今帰仁村立天底小学校	参加者 65 名

授業者（講師）：菊池省三先生（教育実践家）

1. 目的

スーパーティーチャーを招聘し模範授業の参観及びその後の授業研究会において授業づくりの視点を教授してもらう。それにより「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりの実践力を身につけ、北部地区の児童生徒の学力向上へつなげることを目的とする。

2. 授業

- (1) 学校・学級：今帰仁村立天底小学校 4 年生
- (2) 単元「ことばで楽しく遊べる教室をつくろう」
- (3) 本時の目標

- ①誰とでも交流し、意見を述べ合おう。
- ②詩で遊ぼう。

3. 授業の3. 授業の流れ

- (1) 導入部分で、「やる気の姿勢」と板書し、児童全員で読んだ。
- (2) やる気の姿勢とはどんな姿勢でしょう、と発問があり、児童一人一人の返答をクラス全員が享受し、素晴らしい授業の雰囲気が出来上がった。
- (3) 自分1人だけの意見でもいい。ひとりひとり違ってでもいい、立ち歩いてもいいから自分の話したい友達、多くの友だちと意見交流をするようにと指示があった。これらの声掛けや大きな拍手で温かく、みんなを包みこもうとする本時のルール作りを展開した。
- (4) 「くどうなおこ」の「ねがいごと」という詩を提示し、全員で暗唱した。また、ある言葉を空欄にし予想させた。この場面でも、多くの子ども達同士の交流があった。隣同士の意見交換、グループでの交流、学級全体での交流など多くの動きのある意見交流を行わせた。
- (5) 授業の終盤は、詩「ねがいごと」のリズムや形式を利用して「詩」を創らせる。全員の机間巡視をしながら4人の児童に詩を発表させた。



写真1 授業の様子

4. 授業参観者の感想から（抜粋）

- ①今日の菊池先生の授業の中に真似したいポイントが山ほどありました。手の挙げ方、「どうぞ、ありがとう」、出る声、出す声・・・「あっ、そうか!」、こうやって子ども達のやる気を引き出すのか!と一杯学べました。ありがとうございました。
- ②輝く子供の目!! 口角のあがった笑顔、そんな子ども達のために学級経営、授業改善を頑張ります。
- ③授業参観をして感じたことは、自分も菊池先生の授業を受けたいと思いました。先生の都合が合えば私の小中学校でも講演会をして頂きたいと思いました。授業前と授業後の子ども達の表情から先生の「誉め言葉のシャワー」の魔法がかかったように思いました。
- ④「言葉で遊ぼう」の授業を見せて頂きましたが、「学級経営を学ばせて頂いた」様な気がします。子ども達への言葉かけや一人一人を認める先生のパフォーマンスに、子ども達がみんな違って良い。友達を認めるという自信、安心に満ちて生き生きと楽しく活動していけるような先生のようなスタイルを明日から自分の学級で意識していきたいです。
- ⑤子ども達の眼がきらきらして、やる気の引き出し方が素晴らしかったです。学級づくりに活かせる子ども達への言葉かけが沢山あり、とても勉強になりました。対話の大切さ、対話のある授業づくりについて考えることができました。「自信と安心のある教室」という言葉が印象的でした。

◆「アクティブ・ラーニング研究授業」【小学校外国語活動合同授業】

日 時	平成31年2月19日(火) (10時20分~12時00分)
場 所	名護市立稲田小学校 体育館 授業参観者 6名
授業者	T1 比嘉聡子稲田小学校教諭(5年担任) T2 ALT、T3 玉城本生(名桜大学助教) ※学習支援員7名(名桜大学生:名桜大学自由学術英語研究会<R.E.A.L.>)

【概要】既習の英単語やフレーズを活用したアクティビティーを通してこれまで学習した知識の定着を図ることを目的に授業を行なった。英語で行なうフルーツバスケットでは、「フルーツ・スポーツ・動物・食べ物」のそれぞれの分野に関する英単語を用いて実施した。またその際に、What fruits do you like?や What would you like? I like bananas, melons, and pineapples. I'd like hamburger.などのフレーズも活用した。更に、グループ別に行なうカードコレクションゲームでは、仲間と協働で行なう英語でのコミュニケーションを通して課題解決を遂行していく活動を行なった。学生によって提供された「主体的に英語を活用する場」において、小学生は外国語(英語)を体験的に学ぶことができた。同時に学生たちは、自らの外国語習得姿勢を省みて、その学習意欲向上につなげている様子が伺えた。



【授業参観者の感想】

- ・児童がイキイキしていた。
- ・できる限り英語のシャワーをあげせる(英語で話す)ことがやはり大切だと思いました。
- ・理解できない子どもがいるのかも・・・と不安にならずにどんどん英語を聞かせたい。
- ・答える時も文(sentence)で答えるよう、教師側がしっかり声かけする。
- ・小学校でやってきたことをしっかり中学校側が繋げていけるよう頑張りたいです。

【主催者の感想】

本時は体育館を使って2時間、一斉型や活動型などバラエティに富んだ授業を行い、教師と子どもたちが生き生きと活動していて、見ている者が引き込まれるようでした。授業はほとんど英語を使って行われたが、子どもたちも Classroom Englishがある程度できていて、先生との英語でやり取りができていた。学生の支援も役割が明確で、きちんとなしていたように思いました。

日 時	平成31年3月8日(金) (10時40分~11:25分)
場 所	名護市立大北小学校 多目的教室 授業参観者 10名
授業者	T1:英語専科 岸本瑞恵教諭、 T2:玉城本生 名桜大学助教 ※名桜大学生(7名)が学習支援員として参画

【授業概要】

本時の内容：グループアクティビティー
(インタビューゲーム)

本時のめあて：これまで習った英単語や表現を使って質問したり答えたりすることができる。
キーワード：What () do you like?

Where do you want to go?

Can you play/eat/see ()? etc

授業形態：多目的教室を使用 グループ単位(8グループ)でのアクティビティー、名桜大学生が支援員として参画

留意点：グループで協力しながら元気に参加

- ・必ず全員が英語で質問する
- ・質問の答えを活動用紙に記入する
- ・例外で正確な情報を取得できたか確認する。



伊是名村教職員研修 14名参加	
日 時	平成31年2月28日(木) (17時から18時30分)
場 所	伊是名村立伊是名中学校

講師：高安美智子、大城覚（センター教員）

1. 研修の内容

- (1)「教師の役割と教師の技を磨く」(高安センター長)
～子どもにとって最大の教育環境は教師である～
- (2)「若手教師を育てる」 (大城センター教員)

2. 研修者の感想から（抜粋）

- ①教師としての役割ができていないのか、どんな役割を持っているのかと振り返ってみると、まだまだ自覚が足りないと感じました。「技」という言葉を使っていたのですが、授業力はもちろん、生徒指導・進路指導についてもこれまで以上に学んでいかなければと思いました。
- ②「叱るか褒めるか」が重要ではなく、「誰が」が重要という言葉に改めて、はっとしました。信頼関係がなければ、「叱る」の「褒める」の効果は薄くなってしまいますので、生徒に信頼される教師になりたいと思います。信頼される教師になるために率先垂範、自分が学び続け、授業改善に努めていきます。
- ③勉強しない子供に学習させる、学習したいという気持ちにさせなければということが理解できたように思います。
- ④”学力と優しい心の関係”がとても印象的でした。意欲を高める為、信頼関係を築く為にも子ども達に学力をつける事が大切だと思いました
- ⑤学級経営の事や、生徒との関わり方、保護者との連携のとり方など、実体験を交えてお話して下さったので、とても分かりやすく、「自分も実践してみたい」という意欲向上に繋がりました。
- ⑥「分かる授業」をめざすことが最初にやるべきこと。と、頭では分かっているが幾問の工夫をどう改善していくかという課題が目の前に立ちまわっています。今後も教師の仕掛けを工夫して対話的な学びが深まっていけるよう、児童に寄り添った指導を心がけたいです。
- ⑦今回のお話は、ベテラン教師にとっても確認する意味でも、自分を磨くということで、各学校でも講演してはどうですか。

臨時的任用教職員研修（恩納村）15名参加	
日 時	平成31年3月6日(水) (17時から18時30分)
場 所	恩納村教育委員会

講師：大城覚、新城 敦（センター教員）

1. 研修の内容

テーマ 「教師の役割とやりがい」

講師 (1)大城覚 (2)新城敦（センター教員）

2. 研修者の感想から（抜粋）

- ①「五者のころ」という言葉を初めて耳にし、これから教員になる立場として、五つを頭の中に入れながら子どもたちと関わっていきたいなと思いました。時代と共に、子どもたちも変わってきているので、自分自身も子どもたちと一緒に成長していきたいなと思いました。
- ②教師は普通の人間であり、多様性が必要であること。やればやる程やりがいのあるもので、続けることにより目標を必ず達成できる、という話があり、心強い気持ちになれた。
- ③生徒のやる気を引き出せる、無中にさせることができる授業をできるようにになりたいと思いました。
- ④これからの未来に希望を持たせられるように、支援し、力をつけていけるように、自分自身も学んでいきたいと思いました。
- ⑤子供の心に火をつけられるような教師になりたいと思いました。
- ⑥教員の業務は過酷で、少し続けることは大変だと思っていました。（学年末の忙しいこともあり・・・）しかし、この研修会のことばで教師になろうと思った気持ちを思い出すことができた。あと、「きびしさを欠いた教育は結局子どもたちを大切にしない教育である」ということばが胸にささりました。
- ⑦多様な要求が教師に求められる中で、教師も一人の人間であること。そして、その教師と一人の人間である生徒との互いの関係が大事である、ということが印象に残りました。
- ⑧「教師の五者のころ」が非常に良かったです。心にとめておきます。

◆◆◆新規採用教員予定者研修会◆◆◆

日時	平成31年3月8日(月) 14時00分～16時45分
場所	北部生涯学習推進センター 参加者 23名

講師：松田しすか(国頭教育事務所主任指導主事)
高安美智子(北部教育研修センター長)

1. 研修の内容

- ①「教師の役割と学級経営・学級開き」高安
 - ②「基礎的素養、週案の意義・ねらい、学級経営資料の作成について」松田主事
- (1) 講話①「教師の使命と学級経営・学級開き」
学級担任としての経験をもとに、教師としての心構えや担任としての実践等について、学級通信を通して生徒・保護者とのコミュニケーションを取った資料や、生徒の感想・保護者の声等の具体的な資料と説明がありました。
- (2) 「演習・振り返り」
学級担任としての学級開きの挨拶原稿を作成し、グループでの発表や意見交換を行い、最後に2名の代表者の素晴らしい発表がありました。
- (3) 講話②「基礎的素養、週案の意義・ねらい、学級経営資料の作成」(松田主任指導主事)
教師の心構えや態度、授業における基本的しつけ、給食時間の諸注意、清掃当番、下校時の安全確認のきめ細かい配慮の仕方等、週案の意義や具体的記載内容の紹介がありました。

2. 研修者の研修成果(抜粋)

- (1) 「教師の役割」について学んだこと
- ①「教師の人間性」と「学級通信」の話はとても勉強になった。多くの生徒の声を伝えていきたい。
 - ②「夢は叶うもの」学級で使いたいです。
 - ③細かな学級通信作りが生徒・保護者とのラポートづくりのツールとして重要だと思いました。
 - ④「子供の成長」を思う親の願いは教師の人間性という言葉がとても印象に残りました。
 - ⑤教師の人間性、授業力、評価力、学級経営力を高め、日々成長するために努力を怠らず学び続けていくことが大切だとわかった。
- (2) 基礎的素養・週案の作成について学んだこと
- ①教師の仕事はとても多いものですが、どれにも意味があって、大切なものだと感じました。

<資料の紹介>

- ・教室環境整備
- ・学級開き
- ・教科開き
- ・週案、諸表簿について



- ②週案だけでなく、教育現場での実践も発表していただくととても助かりました。
 - ③お休みの子がいたら「何で休んでいるのか」をみんなに知らせ、人のために手を貸せる子を育てる話が印象に残った。
 - ④松田先生の講義は、同じ小学校教員として、とてもきめ細やかで、これから始まる一年間をあらゆる想定から準備されていると感じた。
 - ⑤少し心にゆとりを持つことができました
- ### 3. 新規採用予定教員研修全体の感想(抜粋)
- ①この時期に自分の思いを文字に表せたこと。同期の方の想いを聞けたことはありがたかった。
 - ②前向きな言葉、具体的な学級像がイメージできた
 - ④初任のわくわく感が高まってきました。
 - ⑤次年度に向けて分からないことや不安なことだらけだったこの時期に、このような場を設けていただき、とても感謝しています。

4. 企画者の感想

今回の二人の講師は、自身の教育実践の資料に基づく具体的な事例報告でした。

高安センター長は、これまで受け持った学級の通信や学級PTA資料、生徒の進路指導記録等を製本してコンパクトに保管していました。

松田主任指導主事は、小学校ならではのきめ細かい学級経営資料や教室環境整備の掲示物や週案等の資料があり、その量は圧巻でした。松田主事はこれらを、教師としての自身のキャリアパスポートとしての重要なものと語っていました。その通りだと思いました。

始めて教壇に立つ学生や学級担任を経験したことのない人にとって期待と不安で一杯の新学期だと思います。多くの受講者に満足いく研修だと感じてもらえて研修の目的が達成されたと思います。

◆◆◆スーパーティーチャー招聘教育講演会◆◆◆

日時	平成31年2月27日(水) 18時~19時30分
場所	名城大学多目的ホール
参加者	48名

講師 小玉 宏 元宮崎県教育委員会指導主事

1. 目的

教師は、日々学校現場で生徒と向き合い悪戦苦闘している。本講座は、挫折と苦悩を乗り越え成果を挙げた小玉氏の実践事例を紹介することにより、教師が「学級経営と生徒指導のあり方」を学ぶ機会として企画した。

2. 演題

教師の仕事とは目の前の子供を信じること
～学級経営と生徒指導の実践から～

3. 内容

元宮崎県教育委員会指導主事の小玉宏氏の教育実践「学級経営と生徒指導」について、自らの体験を通じた講演であった。大学を卒業し、生徒指導困難校に赴任した小玉氏は生徒に寄り添い、ヤンキーと呼ばれる生徒と共に学校の美化活動やボランティア活動に取り組み、生徒に活躍の場を与え、居場所づくりに関わる。しかし、学力面で落ちこぼれ、勉強ができるようになりたいと苦悩する生徒を目の当たりにし、学級経営の取り組みとして「学級の生徒全員が100点を取る」という挑戦を行った。その取り組みを、軽妙な語り口で紹介し、子どもたちの真の気持ちを汲み取る大切さを語った。



2. 参加者の感想や意見等(抜粋)

- ①教師にとって「全員に100点を取らせる。」という目標はあまり思いつかないけど、実は目から鱗。ベストな目標だと思いました。
- ②目の前の現象だけを捉えるのではなく、生徒の内面を捉える。生徒の「できた」「できる」という授業づくりが大切だと感じた。「勉強が解る」という喜びは、子供にとって非常に大事だと思いました。

③教師の「本当の仕事」について考えることができた。失敗は勇気になる。教師も自己開示することの大切さを気付かされた。

④「俺はバカ」「俺は無理」の壁は分厚い。勉強でダメなら他のことで活躍させる機会を与える。子供の悩みに向き合っているか。子供の居場所はあるか。子供達にとって憧れる大人(教師)に慣れているか。ダメな所ばかり見て、子供の可能性をつぶしていないか。もう一度子供たちと向き合って子供に寄り添っていきたいです。

⑤学習支援をしてまだ日が浅く、学校の先生方に相談しながら毎日過ごしています。小玉先生の話聞き、小学校の低学年にもできそうな講演だったので参加できて良かった。楽しく、ためになる講演ありがとうございました。

⑥一人一人の生徒の可能性を大切にすることは、素の自分を見せることの姿勢。失敗からのスタートは勇気という言葉が心に強く残りました。

⑦ありのままの自分をさらけ出す…ってできそうでなかなかできないですよ。でも、そうした時の学級は今でも覚えています。

⑧これまでの先生の実践を聞き、自分と比べてしまうと恥ずかしくなるような内容でした。

「子供は伸びたがっている。」「わかりたがっている。」あきらめていない。だから苦しんでいる。簡単に実現できることではありませんが、自分なりにこれから努力していきたいです。

⑨すごい楽しかった。というか嬉しかったです。子供に火をつけるには自分に火をつけなきゃと思いました。今日はありがとうございました。

⑩今、長女が反抗期で反発もすごいですが、私たち親の接し方が悪かった部分も今日の講演で気づかされることがあり参加してよかったです。

⑪「全員に100点を取らせる。」が我々の仕事ということに衝撃を覚え、また非常に共感しました。

⑫私たちの失敗は子供たちの勇気になる。先生もへこたれる姿を思い切り見せてやりたい。「挑戦する教師」であり続けたいと思います。教師の「本当の仕事」について考えることができた。

◆◆◆ アクティブ・ラーニング実践報告 ◆◆◆

日時	平成31年2月22日(金) 16時～15時30分
場所	北部生涯学習推進センター
参加者	25名

発表者 玉城利朗(今帰仁村立天底小学校教諭)

上間哲朗(今帰仁人村教育委員会キャリア教育CC)



1. 研修テーマ

主体的・対話的で深い学びへの挑戦
～キャリア教育コーディネーターとの連携と協働～

2. 研修の目的

新学習指導要領では、アクティブ・ラーニング「主体的・対話的で深い学び」や「カリキュラム・マネジメント」、「地域に開かれた教育課程」等のキーワードが示されています。本研修では、特別活動の新しい指導項目(3)に挑戦し、キャリア教育コーディネーターとの協働により地域人材を活用した今帰仁村立天底小学校の玉城利朗教諭の教育実践を紹介し、新しい授業づくりの提案として企画しました。

3. 内容

今回の特別活動の実践報告は、今帰仁村特別活動研修会で公開された授業をもとにキャリア教育コーディネーターとの連携と協働の中から主体的・対話的で深い学びの授業実践を報告して貰いました。新学習指導要領に示された(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」の項目に挑戦したキャリア教育を重視した今帰仁村の取組は、新学習指導要領の基本方針とも相俟って、時代に即した革新的取り組みであることが高く評価され文部科学省の優良実践事例集にも掲載予定の有意義な実践報告でした。

4. 参加者の感想や意見等

- ①主体的・対話的で深い学びについて改めて学ぶことができました。教師が工夫をして仕組むことで、子供たちが進んで学習することを感じました。「子供の目が変わる」ということも印象的でした。
- ②北部に教育研修センターが設立されてとても嬉しいです。北部にも素敵な先生方、素晴らしい先生方がいるのでその先生の実践を学ぶ(聴く)事ができるだけでもすごく勉強になり、自分自身のやる気にも繋がっています。コーディネーターとの関わり、どの学校も必要不可欠なのに無いのは残念です。

③地域人材を学校の中で生かすことができるのかを学ぶことができました。子供は地域の宝なので地域が多角的・多面的に学ぶ事ができると素晴らしいと思いました。

④地域資源と学校をつなぐ素晴らしい実践だと思いました。今回の実践は全教員に聞かせたいです。

⑤素晴らしい実践発表でした。今、コミュニティ・スクールが求めている取り組み内容の充実ぶりに感心しています。子供の学び、記憶に残る体験など・・・今帰仁村の取り組みをもっと多くの人に聞いてもらいたいです。

⑥勉強は将来の役に立つ、当たり前伝えるべきことを普段教えていないことに気づかされました。初心に戻って頑張ります。

⑦利朗先生の話し方は聞き取りやすく、説明が解りやすい。上間さんの話も学校の勉強が社会と繋がっている事を子供たちに実感させており素晴らしいと思いました。

⑧キャリア教育コーディネーターとの連携や協働など、市町村によって人材確保や行政の教育環境が違い、教育委員会の学校支援の充実が求められる。

5. 主催者の感想

特別活動の授業だけではなく、社会科や総合的な学習の時間、家庭科、道徳などキャリア教育コーディネーターとの連携と協働は、新学習指導要領の「カリキュラム・マネジメント」や「開かれた教育課程」の実現に繋がります。参加した教員からは自校の職員へも聞かせたいとの声や指導主事からは各市町村の社会教育主事へも設定して欲しいとの要望がありました。地域で活躍している教員の発表会も必要だと改めて実感しました。

編集後記

ご多忙の中、研修会へのご参加ありがとうございました。次年度に向けてさらに充実した学び合える研修会を企画していきたいと思っております。